

交・差・点

安倍首相が米ハワイで、オバマ米大統領とともに真珠湾攻撃の犠牲者を慰霊した。両首脳は演説で「和解の力」を世界に発信した。現地の式典には、ハ

ワイ・ホノルル市の姉妹都市である長岡市の磯田達伸市長も出席した。長岡市は真珠湾での長岡花火打ち上げなど、ホノルル市との平和交流を続けている。両首脳演説を受け、磯田市長は「平和交流が、日米関係の新しいスタートの環境づくりとなった」とコメントした。

平和交流の先導役

2年生が太平洋戦争を学習し、毎年3月に「平和劇」を発表する市立南中では、昨年、3年生の女子生徒2人が平和と戦争について書いた作文が「全国小・中学校作文コンクール」の県審査で最優秀賞と優秀賞に輝いた。2人を取材すると、「自分たちが戦争体験の生話を聞ける最後の世代だ」という責任感が伝わってきた。

長岡市は真珠湾攻撃を指揮した連合艦隊司令長官・山本五十六の出身地。長岡空襲では約1490人が犠牲となり、市内の小中学校では、太平洋戦争に学ぶ平和学習が盛んだ。市立希望が丘小では昨年12月、空襲体験者の話を聞く取り組みの集大成と

して、6年生約70人が創作劇「昔、長岡で戦争があったよ2016」を上演した。小学生がタイムスリップして空襲を体験するという内容で、亡くなった人たちを忘れず伝えていく決意を表現した。

(小谷野直樹)